

事業所名 児童発達支援センターミニヨンヌアリス 支援プログラム（参考様式） 作成日 2025 年 1 月 25 日

法人（事業所）理念		誠：ご利用者様、ご家族の皆様や地域の方々に誠の心を以て接し、地域社会に貢献できる福祉事業を展開していきます。					
支援方針		自然や人とのふれあいの中で遊びや生活を豊かに体験し、一人ひとりの中にある発達の可能性を 十分発揮できるよう、そして次のステージに進めるよう、ご家族と共にお子様の成長をサポートいたします。					
営業時間		8 時	20 分から	17 時	20 分まで	送迎実施の有無	あり なし
		支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	○日常の様子の観察やバイタルチェックを行いながら健康状態の把握に努め、健康の維持・向上を図れるよう支援を行います。食事・排泄・着脱等の基本的な生活習慣を形成し、健康状態の維持・改善に必要な生活リズムを身に付けられるよう支援します。また、生活に必要な基本的技能を獲得できるよう生活の場面における環境設定を行い、子ども達が主体的に取り組み、自分でできた喜び・達成感を味わえるよう支援します。					
	運動・感覚	○子どもの発達段階や特性に応じた運動プログラムを通し、身体を動かす楽しさを知り、ボディイメージや体の使い方の向上を図ります。また、制作活動や感触あそびを通し、五感を育むとともに、道具の使い方や細かい手指の動きの向上を図れるよう支援します。					
	認知・行動	○様々なあそびやプログラムの中で、視覚・聴覚・触覚などの感覚を使い、認知機能の発達を促します。子ども達が自分で感じたり考える機会を大事にしながら、場面や状況に応じて行動する力や調整する力の向上を図れるよう支援します。					
	言語 コミュニケーション	○あそびや様々な活動を通して、多くの言葉に触れる中で、子どもの発達段階や特性に合わせたコミュニケーション手段で、他者とやりとりをする楽しさや自分の気持ちや考えを伝える経験を積んでいけるよう支援します。					
	人間関係 社会性	○お友達や大人とのあそびや関わりを通して、まずは「自分を好きになる」そして「人を好きになる」を土台として、人間関係を育んでいきます。また、ルールを守ることの大切さを知り、気持ちや情動を調整する力を高めていけるよう支援します。					
家族支援		○日々の療育の様子や支援方法について送迎時や連絡帳にて情報共有を行います。また、専門職や保育士との個別相談を通して、ご家族が安心して子育てができるようサポートします。			移行支援	○併行通園先の保育園・幼稚園との連絡会を通し、活動の様子や支援内容の情報共有を行います。また、就学時にも移行支援シートの活用や連絡会を通し、情報共有ができるよう支援します。	
地域支援・地域連携		○併行通園先の事業所や保育園・幼稚園・小学校などの関係機関との連携を大事にし、子どもの状態や支援内容について情報交換を行います。また、地域の児童発達支援事業所、放課後等デイサービスを対象とした研修会を実施し、支援の質の向上に努めています。 ○保育所等訪問支援事業を通して情報共有や助言を行います。			職員の質の向上	①法人内研修や外部研修に積極的に参加し、職員の資質の向上と必要な資格の取得に努めています。 ②各種委員会（リスク・感染・研修・給食・虐待）を開催しています。 ③ケース会議・事例検討会を通して支援の質の向上・支援の統一性を図ります。 ④作業療法士（事業所内）・心理士（派遣）・言語聴覚士（派遣）による指導及び助言。	
主な行事等		・親子療育・避難訓練・夏のあそび（プールなど）・季節の製作・イベント（ひなまつり・夏祭り・ハロウィン・クリスマス・節分など）・外出活動（公園など） ・社会科学習（買い物学習など）・クッキング など					